

システム MTU の設定

・ システム MTU の設定, 1 ページ

システム MTU の設定

このモジュールは、Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチおよび Catalyst 3850 シリーズ スイッチ システムの最大伝送ユニットの設定方法について説明します。

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェアリリースの Bug Search Tool およびリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索 するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、http://www.cisco.com/ go/cfn からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

MTUに関する情報

すべてのスイッチインターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト MTU サイズは、1500 バイトです。

システム MTU の制約事項

システム MTU 値を設定する場合、次の注意事項に留意してください。

・スイッチはインターフェイス単位では MTU をサポートしていません。

 system mtu bytes グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力すると、そのコマンド はスイッチのすべてのポートに影響します。

システム MTU 値の適用

次の表では、MTU 値の適用方法を示します。

表 1: MTU の値

設定(Configuration)	system mtu コマンド	ip mtu コマンド	ipv6 mtu コマンド
スタンドアロンスイッ チ	スイッチで system mtu コマンドを入力できま すが、システム MTU 値はスイッチに対して は有効になりません。 これは、ファストイー サネットポートに影響 します。 指定できる範囲は1500 ~9198 バイトです。	ip mtu bytes コマンドを 使用します。 範囲は 832 ~ 1500 バイ トです。 (注) IP MTU 値 は、適用可能 な値ですが、 設定できませ ん。	ipv6 mtu bytes コマンド を使用します。 指定できる範囲は1280 からシステムジャンボ MTU値 (バイト単位) までです。 (注) IPv6 MTU値 は、適用可能 な値ですが、 設定できませ ん。

IP または IPv6 MTU 値の上限は、スイッチの設定に基づいており、現在適用されているシステム MTU のの値を参照しています。MTU サイズの設定については、このリリースのコマンド リファ レンスの system mtu グローバル コンフィギュレーション コマンドを参照してください。

システム MTU の設定

システム MTU の設定

手順の概要

- 1. イネーブル化
- 2. configureterminal
- 3. systemmtubytes
- 4. exit
- 5. showsystemmtu

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	イネーブル化	特権 EXEC モードをイネーブルにします。
	例: Switch> enable	 パスワードを入力します(要求された場合)。
ステップ2	configureterminal	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
	例: Switch# configure terminal	
ステップ3	systemmtu bytes 例: Switch(config)# system mtu 1600	スイッチまたはスイッチスタックのすべてのイーサネット インターフェイスの最大伝送ユニット(MTU)サイズを適 用します。 ・MTU の範囲は 1500 ~ 9198 です。デフォルトは 1500
		です。
ステップ4	exit	グローバルコンフィギュレーションモードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。
	例: Switch(config)# exit	
ステップ5	showsystemmtu	設定されたグローバル MTU サイズを表示します。
	例: Switch# show system mtu	

Protocol-Specific MTU の設定

システムの MTU が変更されると、インターフェイスの ip mtu コマンドの範囲も変更されます。

手順の概要

I

- 1. イネーブル化
- 2. configureterminal
- 3. interfacetypenumber
- 4. ipmtubytes
- 5. ipv6mtubytes
- 6. end
- 7. showsystemmtu

1

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	イネーブル化	特権 EXEC モードをイネーブルにします。
	例: Switch> enable	 パスワードを入力します(要求された場合)。
ステップ 2	configureterminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始しま す。
	19]: Switch# configure terminal	
ステップ3	interface typenumber	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィ ギュレーション モードを開始します。
	例: Switch(config)# interface gigabitethernet 0/0	
ステップ4	ipmtu bytes	各インターフェイスにおいて送信される IP パケットの最 大伝送単位(MTU)サイズを設定します。
	例: Switch(config-if)# ip mtu 900	・範囲は 832 ~ 1500 です。
ステップ5	ipv6mtubytes	インターフェイス上で送信する IPv6 パケットの MTU サ イズを設定します。
	例: Switch(config-if)# ipv6 mtu 1300	・範囲は 1280 ~ 1500 です。
ステップ6	end	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了 し、特権 EXEC モードに戻ります。
	例: Switch(config-if)# end	
ステップ1	showsystemmtu	設定されたグローバル MTU サイズを表示します。
	例: Switch# show system mtu	

システム MTU の設定例

例:システム MTU の設定

Switch# configure terminal Switch(config)# system mtu 1600 Switch(config)# exit

I

例:プロトコル固有の MTU の設定

Switch# configure terminal Switch(config)# interface gigabitethernet 0/0 Switch(config-if)# ip mtu 900 Switch(config-if)# ipv6 mtu 1286 Switch(config-if)# end

システム MTU に関する追加情報

MIB

МІВ	MIBのリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリー ス、およびフィーチャ セットに関する MIB を 探してダウンロードするには、次の URL にあ る Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	Link
シスコのサポート Web サイトでは、シスコの 製品やテクノロジーに関するトラブルシュー ティングにお役立ていただけるように、マニュ アルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。	http://www.cisco.com/support
お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を 入手するために、Cisco Notification Service(Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。	
シスコのサポート Web サイトのツールにアク セスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパ スワードが必要です。	

1

システム MTU の機能情報

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	この機能が導入されました。